中国・四国地方

名前

問1　中国地方5県の人口密度を示した統計において、密度が高いことを示す網掛けがなされている広島県、岡山県、山口県の地理的な共通点として適切なものはどれか。（2019年 佐賀県公立入試 類似）

1. すべて瀬戸内側に位置しており、交通や産業が発達している。
2. すべて山陰地方に位置しており、広大な平野を活用した農業が盛んである。
3. すべて日本海に面しており、冬の積雪が非常に多い地域である。
4. すべて内陸の中国山地に位置しており、林業が主な産業となっている。

問2　2010年における四国地方の農業産出額の統計（総額3,942億円）において、産出額が1,324億円に達し、全体の3割以上を占めていた品目はどれですか。（2025年 宮城県公立入試 類似）

1. 果実
2. 野菜
3. 畜産
4. 米

問3　四国地方に位置するある県は、2016年の統計においてレモンの収穫量が全国の20.8%を占めており、広島県に次いで国内第2位の産地となっています。この県として正しい名称を答えなさい。（2020年 長野県公立入試 類似）

1. 高知県
2. 香川県
3. 徳島県
4. 愛媛県

問4　四国地方の各県の産業を比較した際、徳島県にみられる特徴的な状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 県内全域で商業のみが発達しており、製造業に従事する人の割合は極めて低い。
2. 第一次産業である農林水産業に従事する人の割合が、他県を圧倒して最も高い。
3. 観光業への特化が進んでいるため、宿泊・飲食サービス業の割合が他の産業より極端に高い。
4. 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。

問5　高知県でなすの収穫量が四国地方で最も多い背景には、地理的条件を活かした栽培工夫があります。冬でも温暖な気候とビニールハウスなどの施設を利用し、本来の収穫時期よりも時期を早めて出荷する栽培方法を何といいますか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）

1. 二毛作
2. 促成栽培
3. 高冷地農業
4. 抑制栽培

問6　四国地方に位置するある県について、農業統計における「果実」の産出額が約530億円と、米や野菜に比べて際立って多いことが示された資料があります。人口約134万人を抱え、かんきつ類の栽培が特に盛んなこの県はどこですか。（2022年 千葉県公立入試 類似）

1. 青森県
2. 高知県
3. 愛媛県
4. 和歌山県

問7　中国・四国地方の気候について、鳥取市、高松市、高知市の3つの都市の気象データを比較したとき、高知市のデータに共通して見られる特徴として正しいものはどれですか。（2022年 鳥取県公立入試 類似）

1. 年間を通じて降水量が1000mm程度と極めて少なく、気温の変化も穏やかである
2. 夏から秋にかけて降水量が非常に多く、冬は乾燥して晴天の日が多い
3. 冬の降水（雪）量が年間で最も多く、夏は比較的気温が上がらない
4. 梅雨や台風の影響をほとんど受けず、年間を通じて乾燥している

問8　中国地方の中央部に位置し、広島湾に面する広島市は、周辺の県を含めた広域的な中心地としての役割を持っています。この都市が持つ機能や特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 広大な平野を利用した稲作が盛んであり、古くから食糧供給の拠点として発展してきた。
2. 瀬戸内工業地域の中核として、みかんなどの果樹栽培とそれを利用した食品加工業が最も盛んである。
3. 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。
4. 四国地方最大の都市として、本州と四国を結ぶ交通の要所に位置する商業の中心地である。

問9　讃岐平野の気候的特徴と地形の関係について、季節風の性質の変化を説明した次の文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「夏と冬の（ X ）は、それぞれ高い山地に遮られる。山地を越えて讃岐平野に流れ込む際には（ Y ）に変化するため、この地域では年間を通じて降水量が少なくなる。」（2024年 三重県公立入試 類似）

1. X：乾いた風、Y：湿った風
2. X：湿った風、Y：乾いた風
3. X：冷たい風、Y：湿った風
4. X：暖かい風、Y：激しい風

問10　日本の気候区分のうち、年間を通して降水量が少なく温暖な「瀬戸内の気候」が見られる地域において、安定した農業経営を行うために発達した施設や仕組みとして正しいものはどれですか。（2018年 埼玉県公立入試 類似）

1. 洪水の被害を避けるために、住居を周囲より高く盛った土の上に建てる「輪中」
2. 冷たい風から作物を守るために、家の周りに「屋敷林」を植える工夫
3. 雨の少ない時期の灌漑用水として利用するための「ため池」の築造
4. 火山の噴火による堆積物で覆われた土地で、水持ちを良くするための「客土」

問11　鳥取県付近から南下し、岡山県・香川県付近を通過して愛媛県方面へと向かうルートを移動する際に観察できる、中国・四国地方の景観の移り変わりとして最も適切なものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）

1. 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観
2. 雪の多い山岳地帯から、ビニールハウスによる促成栽培が盛んな平野を通り、真珠の養殖筏が並ぶ入り江へ続く景観
3. リアス海岸が続く沿岸部から、巨大なカルデラをもつ火山群を越え、シラス台地の広がる平野へ続く景観
4. 広大な干拓地から、日本有数の製鉄所が並ぶ工業地帯を通り、太平洋に面した茶畑へ続く景観

問12　中国・四国地方を地形や気候の特色に基づいて区分した際、日本海側に位置する地域と、本州と四国の間に広がる内海に面した地域をそれぞれ何と呼びますか。適切な組み合わせを選びなさい。（2022年 山形県公立入試 類似）

1. 山陽と東海
2. 山陰と北陸
3. 山陰と瀬戸内
4. 瀬戸内と中央高地

問13　広島県における2006年から2015年の市町村別人口動態の調査では、県北部の内陸部に位置する市町村で、7.6%を超える顕著な人口減少が確認されています。このような高い減少率を示す地域に共通して見られる地形的な特徴として、最も適切なものはどれですか。（2017年 富山県公立入試 類似）

1. 険しい山地が広がり、交通や生活の利便性が低い地形
2. 大規模な稲作や工業用地に適した広大な平野
3. 土砂の堆積によって作られた生活に便利な三角州
4. 火山の噴火によって形成された平坦な台地

答え合わせ・解説

問1	答え 1 すべて瀬戸内側に位置しており、交通や産業が発達している。	広島県、岡山県、山口県の3県は、いずれも瀬戸内海に面した「山陽（瀬戸内）」と呼ばれる地域に属しています。この地域は、古くから海上交通の要所であったことに加え、山陽新幹線や高速道路などの交通網が整備されています。そのため、瀬戸内工業地域などの工業集積が進み、都市が発達して人口密度が高くなっています。一方、白い空白（低密度）で示される島根県と鳥取県は、山陰地方に位置しています。
問2	答え 2 野菜	四国地方の農業は、高知県を中心とした野菜の生産が非常に盛んである点が特徴です。2010年のデータでは、野菜の産出額が総額の33.5%を占めており、果実（みかんなど）や畜産、米と比較しても最大の割合となっています。これは、温暖な気候を活かした高付加価値な農業が展開されていることを示しています。
問3	答え 4 愛媛県	愛媛県は、瀬戸内海に面した温暖な気候と、日当たりの良い傾斜地が多いという地形的条件を活かし、古くから柑橘類の栽培が盛んに行われてきました。みかんの主要産地として知られていますが、近年ではレモンの生産量でも全国上位に位置しており、広島県と共に国内の主要な産地を形成しています。
問4	答え 4 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。	徳島県は伝統的な藍染めや製薬業の基盤から発展した化学工業のほか、近年ではLEDなどの先端技術に関連した製造業も盛んです。そのため、四国地方の中でも製造業の就業者割合が高く、第2次産業が県の産業構造において重要な役割を果たしている点が、試験でも頻出のポイントとなります。
問5	答え 2 促成栽培	高知県では、冬の晴天時間が長く温暖な気候を最大限に活用しています。なすなどの夏野菜を、価格が高くなる冬から春にかけて出荷するために、成長を早める「促成栽培」が行われています。これにより、消費地から遠くても輸送コストを上回る利益を得る仕組みが整えられています。これに対し、夏の涼しい気候を利用して出荷時期を遅らせる方法は抑制栽培と呼ばれます。
問6	答え 3 愛媛県	四国地方に位置し、農業産出額の中でかんきつ類を中心とした果実の割合が非常に高いのが愛媛県の特徴です。選択肢のうち、和歌山県は近畿地方、青森県は東北地方であり、高知県は野菜（促成栽培）の産出額が多いという違いがあります。
問7	答え 2 夏から秋にかけて降水量が非常に多く、冬は乾燥して晴天の日が多い	高知市は「太平洋側の気候」に属しています。夏は南東からの湿った季節風が四国山地にぶつかり、上昇気流が発生することで多くの雨が降ります。また、台風の通り道になることも多く、夏から秋にかけての降水量が非常に多くなるのが特徴です。一方で、冬は四国山地が北西の季節風を遮るため、乾燥した晴天の日が続きます。これに対し、冬に降水量が多いのは日本海側の鳥取市、年間降水量が極端に少ないのは瀬戸内側の高松市の特徴です。
問8	答え 3 国の出先機関や民間企業の支店が集中し、地方中枢都市としての機能を果たしている。	広島市のように、地方の政治・経済・文化の核となる都市は「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市は中国・四国地方を代表する都市として、行政や企業の管理機能が高度に集積しています。選択肢にある「みかんの生産」は愛媛県などの特徴であり、広島市の中心的な機能はあくまでも都市としての管理・中枢機能にあります。
問9	答え 2 X：湿った風、Y：乾いた風	海を渡ってくる季節風は多くの水蒸気を含んだ「湿った風」ですが、高い山地にぶつかると斜面に沿って上昇し、雨や雪を降らせます。この過程で水分を失うため、山頂を越えて反対側の斜面を吹き降ろすときには「乾いた風」へと変化します。讃岐平野は夏と冬のいずれの季節風も山地を越えた後に到達する位置にあるため、乾燥した空気が流れ込み、降水量が抑制されます。
問10	答え 3 雨の少ない時期の灌漑用水として利用するための「ため池」の築造	瀬戸内の気候は、他の気候区分と比較して年間降水量が1000～1200mm程度と少ないことが特徴です。このような環境で稲作を継続するためには、降った雨を逃さずに貯めておく「ため池」が不可欠でした。香川県の満濃池（まんのういけ）に代表されるように、この地域には現在も多くのため池が残っており、地域の農業を支える重要なインフラとなっています。他の選択肢は、東北地方の防風対策（屋敷林）、濃尾平野などの低地（輪中）、シラス台地（客土）に関連する特徴であり、瀬戸内地域の気候的特徴とは異なります。
問11	答え 1 鳥取砂丘から、瀬戸内海沿岸の石油コンビナートや瀬戸大橋を通り、愛媛県のミカン畑へ続く景観	中国・四国地方を北から南へ横断する場合、まず日本海側（山陰）では鳥取砂丘に代表される海岸地形が見られます。次に中央部の瀬戸内海沿岸（瀬戸内）へ進むと、波の静かな環境を活かした石油コンビナートなどの重化学工業地帯や、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋が位置しています。さらに南下した四国（南四国）の愛媛県などでは、温暖な気候と傾斜地を活かしたミカン栽培が盛んであり、ミカン畑の広がる景観が特徴です。
問12	答え 3 山陰と瀬戸内	中国・四国地方は、日本海側の「山陰」、瀬戸内海に面した「瀬戸内」、太平洋側の「南四国」の3つの地域に区分されるのが一般的です。これらは地形的な障壁となる山地の存在や、それに伴う気候の大きな違いに基づいた区分です。
問13	答え 1 険しい山地が広がり、交通や生活の利便性が低い地形	中国地方の内陸部には中国山地が連なっており、険しい地形が広がっています。こうした地域では交通網の整備が難しく、病院や商店などの生活サービスを維持することが困難なため、都市部への人口流出が続いています。このような現象は「過疎」と呼ばれ、特に広島県北部などの山間部で顕著に見られます。